



森のタペストリー

梵珠少年自然の家

1 活動のねらい

- 自然素材を生かし、自分だけのオリジナル作品を作ること、創意工夫する喜びを味わうことができます。
- 道具の安全な使い方を習得することができます。

【教科への対応】 小学校：図画工作など 中学校：美術、技術・家庭など

2 活動の概要

身近で入手できる木の枝や木の実で、部屋に飾れる壁掛けを作ります。写真を貼り付けるフォトフレームとして作ることもできます。

- (1) 人数 160人以内
- (2) 対象 小学3年生～中学生・高校生
- (3) 期間 通年
- (4) 時間 1時間（説明10分+活動50分）
- (5) 場所 体育館、研修室1・2、キャンプセンター
- (6) 経費 40円/1作品

※ フォトフレームバージョンの場合、
写真の印刷1枚につき50円かかります。

- (7) 指導 製作方法等について、自然の家職員が説明（直接または間接指導）を行う。



<作品例①>



<作品例②>






3 準備物

団体	救急薬品、必要に応じてデジタルカメラ
個人	特になし
自然の家	材 料：自然物、幹巻きテープ、ひも・毛糸、モール 用 具：木工用ボンド、剪定ばさみ、のこぎり、裁ちばさみ、直定規（30 cm）、油性ペン、作業板、（両面テープ：写真貼付用）

4 引率者の役割分担

代表責任者	1名。全体の総括、指揮、連絡にあたる。
活動支援者	数名。子どもたちの活動を支援し、安全と事故防止に努め、緊急時に対応する。

5 活動の流れ

	内 容	
説 明	<ul style="list-style-type: none"> 参考作品を提示しながら実演し、作り方について説明 用具の使い方と安全について説明 	
活 動	<p>① 直定規で測って幹巻きテープ 30 cmを切る。</p> <p>② 木の枝をテープの幅程度の長さに 2 本切り、1 本にひも（毛糸）を 2 カ所で結びつける。</p> <p>③ ひもを結んだ枝を、モールで幹巻きテープの上側に固定する。モールは、2 本を合わせてねじって折り曲げる。下側も同じようにして枝を固定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 枝は幹巻きテープの端から 5 cm程度離して付ける。 一本のモールを半分に切り、枝の両端を 1 / 2 本のモールでそれぞれ固定する。（1 作品で 2 本使う） <p>④ 上下の枝の間に自然物を木工用ボンドで貼り付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 木の枝は剪定ばさみや、のこぎりで好みの長さに切る。 油性マジックで自然物に絵を描いたり着色してもよい。 フォトフレームタイプにする場合は、自然物を付ける前に、写真を貼る部分にマジックで印を付け、その範囲内に自然物を貼らないようにする。写真は最後に、両面テープで貼り付ける（後ほどプリントして貼ってもよい）。 	 ①  ②  ③ <p>モールはねじってから、平らに折り曲げる</p>  ④ 
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 感想発表や友達の作品の鑑賞 用具の返却と後片づけ 	

6 実施上の留意点

- 作品を持ち帰ることを考慮し、あまり立体的な作品にしない。各自で持ち帰る際には、ビニール袋等の準備が必要である。
- 2種類の木工用ボンドを使用できる。



<ボトル>

<皿・ヘラ>

ボンドを皿に取りヘラで塗る。
（使用後の皿は水洗いして返却）

【改訂ポイント】
ホットボンドを廃止し、木工用ボンドで製作することとした。

7 安全に実施するためのポイント

- 剪定ばさみ等によるけが防止のため、なるべく軍手をつけて作業する。
- 刃物を扱うときは、刃の前に指や手を置かないように十分気をつける。
- 用具を散乱させておかないように注意する。
- ホットボンドは必要に応じてコーナーを設置し、使用する。（個別研修会で要相談）